

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりのたね ひなた園		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備において、広い室内を有効活用し、子どもたちが過ごしやすい、また安全に過ごせるように、スペースを確保しています。	利用スペースは、クラスごとに部屋を分けて活動しています。適宜、ロッカーや机、椅子の配置を検討し、子どもたちの集中しやすい環境の整備に取り組んでいます。	衝立等をこまめに使用し、個人で集中して過ごす時間と、集団で過ごしていく時間の区別をしていきます。クールダウンが必要な際には、別室で過ごすなどの工夫も重ねてまいります。
2	保護者様への対応はきめ細やかに、わかりやすい説明を心がけています。また、お子さまだけではなく、保護者様の心にも寄り添った支援を行うようにしています。	担任制ですが、情報の共有に努め、送迎の際に、保護者様と密なコミュニケーションを図ることを心掛けています。お子さまの些細な変化に気を配り、保護者様にも、様子についてお聞きするなどの対応を行っております。	送迎の際や面談、またはオンラインでの対応等を行い、心配事や困っている点、または良かったこと、嬉しかったことなどの共有に努めます。行われている支援に沿った話を交えながら、コミュニケーションに努めてまいります。
3	保護者様からの満足度において、ある程度の評価を得られていると思います。	当園では、降園や外遊びなどの機会が多く、子どもたちがいろいろなものに触れ、楽しむ経験を積み、好奇心をはぐむ後押しをしております。	子どもたちの「好きなこと、得意なこと」に着目し、ありのままを受け入れ、個性を認める支援を継続して行っており、自分に自信を持つことができるように、たくさん褒めることを進んで行っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各クラスの担任はいますが、補佐の職員が固定しづらいところがあります。	子どもたちの人数や、状態により、臨機応変に職員配置を行っていく必要がある為です。	研修の実施や、外部からの指導方法、ボランティアの受け入れなどを、積極的に取り入れてまいります。
2	他園・保育所・幼稚園などの交流の機会が少ないです。	感染症の流行や、行事等の関係で、なかなか交流の機会を設けることが、難しい面があります。	年間計画等に組み入れて考えてみるなど、方法を考えています。
3	全体による保護者会などの開催が少なく、保護者同士の交流の場が少ないです。	感染症の流行や、開催場所等の関係で、保護者会の開催をこまめに行えない面があります。	全員が参加できる日を設定しようとするのではなく、こまめに行うなどの方法で、保護者様同士の交流を設けられるように考えてまいります。